

明らかに間違っている中学の社会科地図表記

支那中共のプロパガンダに加担？ 毎年124万の中学生に刷り込み！

「台湾を中国領とする文科省の社会科教科書検定を許さない日台国民集会」が4日、都内の文京シビックセンターで開かれ、現在使用されている中学校の社会科地図で台湾を中国領の一部であるかのように誤記されている問題で、この訂正を文科省に求める決議を参加者全員で行った。

主催したのは日本李登輝友の会、台湾研究フォーラム、メルマガ「台湾の声」の三団体。主催者挨拶を永山英樹氏(台湾研究フォーラム会長)、そしてこれまでの経過報告を柚原正敬氏(日本李登輝友の会事務局長)が行った。またアピールとして西村幸祐氏(ジャーナリスト)、梅原克彦氏(前仙台市長)、易錦銓氏(台湾経済研究院顧問)、水島総氏(チャンネル桜代表)の四氏が言い、中国のプロパガンダに対してそれぞれの立場から警鐘を鳴らした。



賑わった「日台国民集会」が開かれたシビックセンターの会場

それによると、現在使用されている中学校の社会科地図は帝国書院が117万部、東京書籍が7万部で、いずれも国境線を中国と台湾の間に引かず、台湾の太平洋側に引いており、これでは台湾が中国領の一部であるかのような表記になっているとした。また両地図共に中国の国土面積が台湾を含んでおり、中国のプロパガンダに加担している、と訴えた。

この中で永山英樹氏は「この誤記表示は事実上の文科省の指示、押しつけであり、教科書会社は国家権力に屈服しているのが実情だ。左翼の人こそ騒いで欲しい案件だ」と語った。ちなみに、歴代の日本政府は「台湾は中国の一部である」と正式に認めたことはこれまでに一度もない。



挨拶する永山英樹、柚原正敬、西村幸祐の各氏

また、この背景には、①ミスをして罰せられることを嫌う役人の体質。それだけ支那の宣伝圧力が強力だということ、②こうした事実を知らされない国民と、怒ることをしない日本人の国民性、③中国の内政問題を妨害するなという圧力、狙いは台湾有事の際の日米同盟の排除一などがあると指摘していた。(ニュース調こまで)。



同じくアピールの梅原克彦、易錦銓氏、水島総の各氏

参加された皆さま、ご苦勞様でした。会場の全体写真は開会してすぐに撮影したのですが、その後も次々と参加者が訪れ、通路に補助席まで出す賑わいぶりでした。主催者の予想を上回る来場者だったのでしょうか。このタイミングで集会を開いた狙いについて、今年が中学校教科書の検定年に当たるため、文科省にこの誤記を訂正させる狙いがあると説明していました。

主催者では台湾正名運動の一環として五年前からこの問題を訴えており、7月21日には小田村四郎会長が文部科学省に赴き川端達夫・文科大臣宛に「中学校社会科地図帳の記述内容に関する訂正要望書」を手渡して訂正を求めています。また現在この署名運動を展開中で、ネットでは以下から署名用紙をダウンロードできます。

- ・インターネット署名はこちらから
- ・署名用紙のダウンロードはこちらから
- ・問題点を簡潔にまとめたチラシはこちらから

以下、地図に表記された誤記の具体的な指摘とその理由、そして集会の最後に採択された決議文を掲載しました。



台湾の太平洋側に国境線が引かれている(帝国書院:20頁、左)
21頁から22頁の「中国の資料図」における7つの中国地図(右)

【誤記1】

18頁、20頁の地図のなかで、台湾と中華人民共和国の間に国境線が引かれておらず、台湾の太平洋側に国境線を引いて、台湾が中華人民共和国の領土に組み込まれた表記をしています。周知のように、我が国は、昭和27年(1952年)4月発効のサンフランシスコ平和条約において台湾に関する主権を放棄しました。しかし、その後、台湾がどの国家に帰属するかについては一切取り極められていません。

また、昭和47年(1972年)9月の「日中共同声明」において、中華人民共和国政府は「台湾が中華人民共和国の領土の不可分の一部であることを重ねて表明する」とする一方で、日本国政府は「この中華人民共和国政府の立場を十分理解し、尊重」とし、台湾が中華人民共和国の領土であるとは承認していません。アメリカやイギリスも、台湾を自国領とする中華人民共和国の主張をアクノレッジ(認識する)という立場で、決して承認はしていません。

そもそも我が国は、サンフランシスコ平和条約において台湾に対する領土的処分権を喪失しているため、台湾を中華人民共

和国の領土と承認する権限はなく、そのため「台湾の領土的な位置付けに関して独自の認定を行う立場にない」というのが政府の公式見解です。したがって、[台湾](#)を中華人民共和国の領土とすることは日本政府の見解に悖る表記であり、現に[中華人民共和国](#)が[台湾](#)を領有している事実がないことに照らせば、地図帳のように[台湾](#)を中華人民共和国の領土とすることは誤りです。

【誤記2】

21頁から22頁の「中国の資料図」における7つの[中国](#)地図(右)は、いずれも[台湾](#)を中国の領土として描き、『[中国](#)地図集』や『[中国](#)統計年鑑』など[中華人民共和国](#)が発行した資料を基に作成しているようです。(以上、[李登輝友の会HP](#)から引用)



決議文

言うまでもなく台湾は[台湾](#)人の独立国家であり、中国の領土などでは断じてない。

しかし我が[文部科学省](#)はこれまで教科用図書検定において、中学校の教科用図書である帝国書院の『中学校社会科地図』と東京書籍の『新しい社会科地図』が、[台湾](#)と[中国](#)との間に境界線を引かず、あるいは中国作製の地図を転載し、中国の面積として台湾の面積をあわせた数値を掲げ、さらには日本が[台湾](#)を「[中国](#)に返還した」などと事実と反する記載を行うことを容認してきたのである。

そしてその結果、毎年百二十万人もの生徒が、こうした誤った情報を押し付けられるという事態に陥っている。

これについて[文部科学省](#)は「政府見解に基づいたものであり、適切だ」とし、自らの正当化を表明しているが、それは責任逃れのために国民を欺く明らかな嘘である。なぜなら政府は[台湾](#)を中国の領土と認めない見解、立場にあるからだ。

そもそも「[台湾](#)は中国の一部」とするのは、[台湾](#)侵略・併呑を正当化しようとする中国の宣伝に他ならない。[中国](#)は 日米同盟の台湾有事への介入を防ぐため、特に日本に対してこの宣伝を強化してきた。

従って[文部科学省](#)は日本の政府見解などではなく、こうした中国の政治宣伝に基づいて検定を行ってきたことになる。そして教科書会社は、その[文部科学省](#)によって検定で不合格にされることを恐れ、誤った記述を改めることに躊躇しているかに見える。

まさに戦慄すべき事態だ。中国の走狗の如く、その国益、戦略のため、日本の中学生に誤った情報と認識を刷り込み、さらには[台湾](#)人の尊厳と感情をも平然と踏み躪る[文部科学省](#)の異常極まりない犯罪的行為を、心ある日台の国民は断じて看過することができない。

「[台湾](#)は中国の一部」とするのは、教科用図書においては決して許容できない明らかな誤記である。その教科用図書を現在使用している以上、文部科学大臣は「教科用図書検定規則」第十四条に基づき、その訂正申請の勧告を帝国書院と東京書籍に対して行わなければならない。また今年行われる教科用図書検定では、こうした誤記の修正を帝国書院と東京書籍に対して求めなければならない。

文部科学大臣はただちにこれを実行せよ。
これを我々の要求とし、ここに決議する。

平成二十二年九月四日

[台湾](#)を[中国](#)領とする[文科省](#)の社会科教科書検定を許さない日台国民集会参加者一同



カテゴリ: 政治も フォルダ: 指定なし   

コメント(9)

タグ: 日本李登輝友の会、台湾研究フォーラム、メルマガ「台湾の声」 永山英樹 柚原正敬 西村幸祐 梅原克彦 易錦銓氏 水島総

コメント(9)

コメントを書く場合はログインしてください。

Commented by **花うさぎさん**
・オピニオン

2010/09/05 10:44

代表選の投票権 外国人にも認めるのは問題だ(9月5日付・読売社説)

民主党代表選は日本の政党の党首選びである。在日外国人にまで投票権を認めるのは、明らかに行き過ぎだ。民主党は、国会議員、地方議員、党员・サポーターに代表選の投票資格を与えている。その合計の1224ポイントのうち、党员・サポーター票は300ポイントと約4分の1の重みを持つ。

選挙戦が激しくなれば、約5万人の党员、約29万人のサポーターの1票が、勝敗を決する可能性もあると指摘されている。問題は、民主党の規約が党员とサポーターの資格を「在日外国人を含む」と定めている点だ。

憲法は公務員選定・罷免の権利を、公職選挙法は選挙権を「日本国民」にのみ認めている。政治資金規正法は、政党や政治団体が外国人や外国法人から寄付を受けることを禁じている。

いずれも、日本の政治や選挙が外国からの干渉を受けるのを防ぐための規定だ。この趣旨に照らせば、政権党であれ、野党であれ、党首選の投票権を外国人に認めることは、きわめて疑問である。

党员などの要件や代表選の仕組みは、政党自身が決めることではある。民主党は「開かれた政党」という考えの下、在日外国人にも門戸を開いていると説明する。

Commented by **花うさぎさん**
(続き)

2010/09/05 10:45

しかし、政党は、国民の税金である政党交付金を受ける公的な存在だ。憲法や法律から逸脱することは無論、その趣旨を歪めるようなことがあってはならない。民主党は、党员・サポーターの中にどのぐらい在日外国人が含まれているかも把握していない。選挙管理があまりに杜撰過ぎる。

枝野**幹事長**は先月、記者会見で「将来的にいろいろ検討しないといけない。国政に参加する要件は国籍で判断するべきだ」と述べている。代表選が首相選に直結してようやく、この問題の重大性に気づいたのだろう。

自民党や共産党などは、日本国籍を党员の要件としている。民主党も、党员・サポーターの資格を日本国籍の者に限るべきだ。党员・サポーターには、永住外国人への地方選挙権付与を期待する在日**韓国人**が少なからずいるとみられている。

菅首相と小沢一郎・前**幹事長**が党を二分する選挙戦を演じる中、党员・サポーター票の獲得を目当てに、両氏やその支持議員が、この法案の成立を競って約束するといった展開になれば、国の基本を損ねることにもなる。民主党は、早期に是正措置を講じるべきだろう。(2010年9月5日01時11分 読売新聞)

<http://www.yomiuri.co.jp/editorial/news/20100904-OYT1T01061.htm>

・読売社説、もっと早く出すべきだった。

Commented by **老玩童 OJIN さん**
花ウサギさん、ご主張を中国語で書いてみませんか？

2010/09/05 13:05

――そしたら阿比留氏のところよりアクセスありますよ。

2010/09/05 13:24

それで本物の中国人とビシバシ討論する。

どんな意見がくるか、面白いと思われませんか？



Commented by **暁さん**
花うさぎさん、昨日はお疲れ様でした。

幼児向けの絵本の、世界地図や国旗を扱ったものでも、酷いものがありますし、日中・中日辞典の見返しの地図なども、「台湾島」とか書いてあったり、驚いてしまいます。

地道に問い合わせ、抗議していきたいと思います。

台湾の問題は、意識していない人も多く、この話をするだけで、国や防衛ということについて話すとつかりにもなりますね。

読売の社説は読者が多いので、ちょっと期待しているのですが…。



Commented by **花うさぎさん**
To 老玩童 OJINさん こんにちは。

2010/09/05 14:41

>花ウサギさん、ご主張を中国語で書いてみませんか？

私は「花うさぎ」ですでお間違いなく。中国語などわかりませんし覚えたいとは思いません。

>それで本物の中国人とビシバシ討論する。

特アの反日教育を受けた人間と討論したいとは全然思いません。



Commented by **花うさぎさん**
To 暁さん こんにちは。

2010/09/05 14:44

>日中・中日辞典の見返しの地図なども、「台湾島」とか書いてあったり、驚いてしまいます。

支那中共のプロパガンダがあらゆる分野で浸透しているのですね。

>地道に問い合わせ、抗議していきたいと思います。

是非お願いします。

>国や防衛ということについて話すとつかりにもなりますね。

台湾の国防は日本の国防と完全にイコールですね。

>読売の社説は読者が多いので、ちょっと期待しているのですが…。

発行部数は1000万部と公称してますから、少しでも多くの方が気がついて欲しいですね。



Commented by **～こめんとするあほうですさん**
中国の今の景気は、かつての日本の高度成や長韓国の漢江の奇跡といわれる成長期であって、先進国の不動産景気が泡と言われるのとは全く異なります。

2010/09/05 16:50



Commented by **花うさぎさん**
To ～こめんとするあほうですさん

2010/09/05 17:15

>先進国の不動産景気が泡と言われるのとは全く異なります。

へえ～そうなんですか？



Commented by **花うさぎさん**
・イベントガイド

2010/09/05 21:05

■JSN【拡散依頼】自由と平和のための国防決起大会 第二弾

拳国一致で護り抜け!「沖縄防衛決戦」

～安保闘争の工作機関誌 沖縄二大新聞に騙されるな～

と き 平成22年9月20日(月) 開場:12:00 開演:13:00

ところ 沖縄武道館 那覇市奥武山町52

【主催者より】[中国共産党](#)は、日本の属国化を着々と進めており、その重要ターゲットが沖縄です。今、中共の沖縄侵略を阻止するために緊急行動を起こす必要があります。そして、沖縄で暗躍している左翼勢力と戦うためには、全国の愛国者のエネルギーを沖縄に結集し一体となって戦わなければなりません。ここに拳国一致の「沖縄防衛決戦」の決起集会を開催いたします。

【プログラム】

第一部:シンポジウム(13:00～15:00)

<主な登壇予定者>

- ◎前衆議院議員 西村真悟(来沖決定、登壇調整中)
- ◎前県議系議員 國場幸之助
- ◎「建て直そう日本」女性塾 幹事長 伊藤玲子
- ◎愛国女性のつどい 花時計 森本町子
- ◎SNS Free-Japan 沖縄県人会副会長 手登根安則
- ◎日本会議 宜野湾支部 支部長 垣花恵蔵
- ◎在日米軍基地ネットワークユニオン 執行役員 平良武夫

第二部:マスコミ正常化行進(15:30～16:30)

- ◎コース:沖縄県立武道館→とまりん

主催:沖縄をシナの侵略から守る全国1000人防衛委員会

共催:在日米軍ネットワークユニオン / 沖縄と共に「自立国家日本」を再建する草の根ネットワーク

後援:[日本会議](#)宜野湾支部

協賛:真悟の会・塚/[日本会議](#)北海道本部/[SNS](#) FreeJapan/立て直そう女性塾/愛国女性のつどい 花時計

<お問い合わせ> 運営事務局:仲村雅己 TEL&FAX:098-869-9827

E-mail: masami.nakamura7@gmail.com